

進路だより

スキルアップ

第8号

青森県立八戸高等支援学校 進路指導部 令和6年11月29日発行

〈産業科 現場実習〉

10月下旬から11月上旬にかけて産業科1年生は3～5日間、2年生は2週間、実習を行いました。将来の生活に向けて、日々の学習活動の成果を発揮すべく、実習先での作業に取り組みました。実習後の振り返りを通して、それぞれの課題を確認し、成長に繋げていってほしいと思います。



〔おでんの仕込み〕



〔シーツ畳み〕



〔水産加工〕



〔玄米袋畳み、玄米出し〕



〔商品仕分け〕



実習振り返り

私は食品関係の工場で実習をさせていただきました。4日間、すりきりの作業を午前中からずっとやりましたが諦めずに最後まで丁寧にやることができました。しかし、昼休憩後の集合時間に間に合わなかったのが、それが自分の課題だということが分かりました。今後は、家庭、学校生活の中で時間を見ながら行動できるように意識したいと思いました。

今回の実習では、クリーニング済みの衣類、ふとんシーツ、くつ下、肌着等のたたみ作業をさせていただきました。汚れのついた物を納品しないように、自分の目で確認をして作業することや、衣類のたたみ方を学ぶことができました。初めての实習なので、時々腰が痛くなった時がありましたが、最後まで取り組むことができました。来年の実習では、長時間立ちっぱなしで活動できるようにしたいと思いました。

私は水産加工の工場へ実習に行きました。サバの移し替えて作業では、最初のうちは腰に負担がかかってしまい苦労しました。しかし、会社の方がアドバイスをしてくださり、その後は負担をかけずに作業ができました。また、家では立ちっぱなしの時間がないので良い経験になりました。4日間、余裕をもって朝の出勤ができたので良かったです。

私は食品を扱うお店で実習しました。初日は、緊張とプレッシャーのため、実習先で体調を崩してしまい迷惑をかけてしまいました。2日目も緊張や不安がありましたが、「上手だね」と褒めていただき、だんだん緊張が無くなってきました。実習の最後には、「誰でも緊張したりプレッシャーはあったりするけれど、適度な緊張感でプレッシャーに負けないで」とアドバイスをもらいました。次回の実習では、適度な緊張感で過ごし、プレッシャーや不安に負けないようにしたいです。また、報告、連絡、相談もできるようにしたいと思います。私を大きく変えてくれた3日間でした。とてもいい経験ができました。

巡回した際には、実習先の方とコミュニケーションを取りながら、自分のやるべき作業に集中して取り組んでいました。実際に実習することで、事前学習では分からなかった、働くことの大変さややりがいに気付くことができたと思います。今回学んだことや感じたことを、次につなげていってほしいと思います。(巡回担当)

自分の中で今回の実習の大きい目標は「挑戦」でした。これまでなんとなく避けてきた、自分にはできない、難しいだろうと考えていた業種にあえて挑戦しました。それは接客です。お客様に気持ちよく過ごしてもらうために、従業員の方から接客に対する姿勢を学びました。印象に残っているのは「笑顔」はファッションであり、身だしなみのひとつであるということです。従業員の方を見ると立ち振る舞いや笑顔も素敵でした。従業員の方の立ち振る舞いに少しでも近付けるように笑顔で接客することを意識しました。今後は学んだことを胸に、見た目だけの身だしなみではなく、感情や心も「身だしなみ」であることを忘れずに生活していきたいと思います。



実習に向かう前は「緊張している」と話していましたが、巡回で様子を見たところ、笑顔で接客ができていました。感心したのは、ちょうどコーヒーを入れる作業をしていたのですが、コーヒーを入れながらも周囲の様子を確認し、終わった後にすぐに次の仕事へと切りかかっていたところです。今回、本人にとっては難しいと感じた業種への「挑戦」でしたが手応えを感じたのではないのでしょうか。今回の実習で得たことを次回への糧にし、自分の目指す将来へ歩いていってほしいと願っています。(巡回担当)